



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2011.6.22 (No.2643)

週報 No.46

第2560地区ガバナー／東山 昕也  
 会長／樺山 仁  
 会長エレクト／山田 富義 (クラブ奉仕A)  
 副会長／杉山 幸英 (クラブ奉仕B)  
 幹事／明田川 賢一  
 S A A／若槻八十彦  
 会計／松永 一義

例会日／毎週水曜日 12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを  
 押してください)

■本日の出席会員数:52名中34名  
 ■先々週出席率:83.67%

【ヴィジター】

中条RCより  
 ・威本正之さん

【先週のメイクアップ】

- [6.16] 三条ローターアクトへ  
 ・樺山 仁さん
- [6.17] 吉田RCへ  
 ・加藤紋次郎さん
- [6.18] 第4分区次年度会長幹事会(見附)へ  
 ・山田富義さん、小出恵出さん
- [6.20] 三条南RCへ  
 ・浅野金治さん、五十嵐晋三さん  
 ・石橋育於さん、歸山 肇さん  
 ・加藤紋次郎さん、丸山行彦さん  
 ・斎藤弘文さん、渡辺勝利さん  
 ・野崎喜一郎さん (9名)

「紫陽花」



会長挨拶

樺山 仁 会長



御挨拶致します。

私の年度での、この場所での最後の御挨拶となりました。

早いもので、一年間何とか体調も保つ事が出来ましたし、又緊張感がありましたので、何とか終わる事が出来ました。これも皆様の御協力と御指導によりまして、おかげで皆様に改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

皆様の期待に添う事が出来なかったと思いますが、私としては何とか無事に終わる事が出来て、楽々して来ました。

本日は、藤田会員の卓話の予定でしたが、私の本日の卓話と言う事ですので、よろしくお願い致します。



「地域を育み、大陸をつなぐ」

2010～2011年度国際ロータリーのテーマ

# 幹事報告

## 明田川賢一 幹事

◎東山ガバナー事務所より

「7月ロータリーレートのご案内」

7月1日より1ドル=82円(現行)

◎26日(日)に開催される「三条ローターアクトクラブ40周年式典・祝賀会」のご案内を出席者へお配りしました。当日は、14:40受付前に集合してください。

幹事がまとめて受付致します。

◎次週29日(水)は、夜例会「会長幹事慰労会」です。18:30～ 二洲楼

欠席される方は、事務局で記帳をお願い致します。

会田二郎さん

会長、一年間ご指導くださいまして、ありがとうございました。

杉山幸英さん

会長、一年間お疲れ様でした。

伊藤寛一さん

本年度も終わりです。会長始め、ご苦労様でした。

荻根澤隆雄さん

樺山会長、明田川幹事、今少しでグリコですね!!

平原信行さん

樺山会長、卓話ありがとうございます。

プログラム委員として荻根澤委員長にはお世話になりました。

若槻八十彦さん

いよいよ最終の司会になりました。

一年間、ありがとうございました。

斎藤真澄さん

久しぶりの出席です。

樺山会長、卓話ありがとうございます。

五十嵐昭一さん

真夏日です。

樺山会長、たびたびご苦労さんです。

田中 仁さん

大変暑い一日と成りそうです。

渡辺 稔さん

捨てる神有れば拾う人もあると感じました。

菊池 渉さん

先週のニコニコBOXの記事では、大いなる誤解が生じそうなので、女性問題、女性は女性でも80歳です!

船越正夫さん、佐藤純二さん、中村光一さん、

樺山会長、本日は卓話ありがとうございます。

楽しみにしております。

6月22日分 ￥26,000

今年度累計 ￥1,112,000

## ニコニコBOX

樺山 仁さん

私の年度の最後の卓話をさせていただきます。

よろしくお願い致します。

山田富義さん

樺山会長、ご苦労様でした。来週もう1回有ります。

斎藤弘文さん

元会員の渡邊喜彦さんの孫の結婚式に御招待を受けました。

樺山会長の心境は正に管総理と同じではないでしょうか?

小越憲泰さん

先週16日、ゴルフ同好会のコンペがありました。

夕方は日本海の素晴らしい夕焼けを見ることが出来ました。楽しい一日でした。

樺山会長の卓話、楽しみです。

小出子恵出さん

先週のゴルフ同好会コンペ、欠席して申し訳ありませんでした。

ロータリー財団、目標額にほぼ達成しました。ありがとうございました。

熊倉昌平さん

当クラブのゴルフ会で、ご参加の皆さんに大変お世話になりました。

丸山行彦さん

先週のゴルフ同好会コンペに多数参加いただきまして、ありがとうございました。

明田川賢一さん

樺山会長、一年間ご苦労様でした。



## 卓 話

### 「この一年を振り返って」

をつかぐ



樺山 仁 会長

日頃は皆さんに御協力頂き、何とか一年間の重責を終える事が出来そうです。皆様の御指導、御協力、誠にありがとうございました。

この一年間、我々のRCの事が頭の中にあって、いかにしたら会員の方々が楽しく満足出来る例会になるのか、色々考えて来ました。

あっと言う間の一年でした。伝統ある三条クラブですので、今迄の事を振り返りながら、思いをめぐらせておりました。

毎週の例会時の挨拶文から、何か印象的な話が出来ないものかと、毎日の新聞や雑誌、その他趣味の本等、よく目を通す事が多くなり、色々勉強になりました。一週間はすぐ巡って来るものですから、緊張感が途絶える事がなかつと思います。

この一年間で、ロータリーの事が次第に広く理解出来たのかな…と、いい機会でありました。

この会長職を依頼された時、ある先輩から「ロータリアンは『YES』はあるけれど『NO』はないですよ」と聞かされておりましたので、依頼された時はお断りしたかったのですが、先輩の顔がちらつきましてNOと言えず、お引き受け致した訳です。

それまでは、クラブの件、色々アバウトな知識で過ごしておりましたので、一年間のエレクト時代に、色々勉強させて頂きました。このエレクト時代の一年と言う期間が、大切であった様です。

菊池会長さんは、毎週のお話しが面白く、自身が楽しんでしまって、自分の時はどうしようかと、悩む様でありました。

菊池さんは人々に対して、お話ししながら説得させる話術を持っておられますので、私にはとても真似の出来るものではありませんですから、どうしようかなと、色々悩んでおりました。

よく奥様とのやりとり等、微笑ましいお話しで、特に印象に残っております。勉強させて頂きました。菊池さん、ありがとうございました。

私のロータリー歴について、少しお話し致します。私は平成7年に入会させて頂きまして、スポンサーは松谷さんでありました。小出会員と同期と思います。

初めは右も左も分からぬ様で、ただ例会に出席させて頂き、楽しませて頂きました。数年後、会報を命ぜられ、3年間続けて担当させられ、当時は会長さ

んの御話はもとより、ゲストスピーカーの方々からの原稿などはなく、小型テープより原稿起しに大変な時が続きまして、女房から「あんたはロータリーに入って何やってんの」と言われる位、原稿起しに精を出していた時代をよく思い出します。

最近では原稿が提出される様になったり、メールで送られる様になって、だいぶ楽になって来ている様ですが、当時は全くなく、会報係の手で原稿を起し、ぎりぎり金曜日の夕方になって三条印刷さん迄よく届けた事が思い出されます。

特に藤田説量パストガバナーさんの卓話の折、何回テープを聞き返しても原稿に起す字が分からなくて、改めてお寺さん迄再度お話しを聞きに行った事がよく思い出されました。

特殊な宗教用語等は非常に難しく、私の様なボンクラには大変な勉強時代でした。辞書を片手に格闘した時でした。

平成15年6月に、女房の体調悪く、川瀬先生に診察して頂いたり、特殊な病でしたので、全国色々回りましたし、車椅子状態を強いられ、仕事一時間、又自宅に帰って一時間、又仕事と、綱渡りの生活が始まり、女房の病気も進みまして、とても通常の事が出来なくなり、RCを退会せざるを得なくなりまして、約一年間退会し、再度2004年に入会させて頂きました。当時は休会と言う事は出来ず、退会と言う事でした。

妻と死別してから、自分の生活だけですが、なかなか元のペースに戻るまで、時間が必要でございました。

仕事もさる事ながら、毎日自分の食事の件、四季が変わりますので、生活が変わります。子供や孫達と一緒に生活すればそれなりの生活がと思いましたが、出来るだけ自分の事は自分でと言う考えで生活して来ましたので、落ち着くまで不安定でした。今では何とかやっております。

一人暮らしの不安もありますが、一人暮らしの気持ちは、又格別です。毎日0.5合の米を炊き、時間に縛られ追いかける毎日で、健康維持を守って来た様です。

皆さんはご夫婦共にお元気でしょうから、私の気持ちなんかは考えられない事と思いますが、共に元気でおれる事は最高の幸せで、今の立場に感謝しなければならぬと思います。奥様あっての旦那様です。平素、この様に例会に参加出来るのも、奥方の「力」が大切であろうと信じます。共白髪まで頑張ってください。

話は変わりますが、ロータリーとは知人の集まり



でなく、友人の集まりで、サービスの心（奉仕の心）、相手の立場に立った思いやりの心が基本であり、より他の人の良さを認め、より他の人と親しく交わり助け合う心が大切であります。職業倫理的では、4つのテストに言われる様に、職業奉仕の基本であると思います。

ロータリーの原点を考える時、その誕生を知ると、その原点と言う考え方が分かる様です。ポール・ハリス青年弁護士が1905年、当時の社会の中で、商業道徳の欠如が多くて殺伐とした時代、友人3人と信頼の出来る公正な取引をして、それが友情につながり、人と人との絆を大切にしたい社会環境を目指して発足したのが原点で、皆で皆の為に持ち回りの例会を始め、ロータリーの意義が分かり、その志が世界に広がり、今では200ヶ国以上の国で、3万4,000余りのクラブがあり、この社会人の、特に専門職業人の集まりで、職業倫理を一番大切に、多方面に奉仕活動を行い、現在の様な社会への貢献を推進しているのです。ロータリーは、慈善団体ではありません。又、他国への援助が目的の団体でもありません。人集めや、金集めの団体でもありません。ロータリーの本質には、素晴らしい魅力がありますので、再確認したいものです。社会にもっと魅力を伝えねばと思います。

日本のロータリーは大正9年、1920年（シカゴでロータリーが発足してから15年）に東京RCが発足し、初代総長チェスリー・ペリーさんが中心となり、東京クラブ創立の為に、米山梅吉さん、福島喜三次さん達が中心となって、東京RCの創立の為に努力された訳です。米山奨学生の支援事業は、RCの大切な事業となっております。ちなみに大正9年当時、私の一族の伯父に当たる樺山愛輔がチャーターメンバーであった様です。

戦中からクラブは中止し、戦後1949年に再復帰し、日本のロータリー活動は目覚ましいもので、国際ロータリーの中で、日本国の地位は不動のものとなった様です。

我々の三条クラブは、昭和32年（1957年）に設立し、チャーターメンバー24名で発足し、今年度で55年の歴史があるのでありまして、県央地区の第一のクラブで、野水会員がチャーターメンバーであります。永きに渡り三条クラブに御指導を頂き、誠に感謝でございます。スポンサーは長岡RCでありまして、55年間には色々な社会奉仕事業を行い、この三条の地にありまして、大切なクラブとなっております。

私のこの一年のクラブ方針として、菊池年度を引き継ぎ、

- ① 会員の親睦と協調を高める
- ② 地域に対しての認知度の向上
- ③ 会員増強
- ④ 楽しい例会 出席率の向上
- ⑤ 市内4クラブで三条ローターアクトの支援を強化  
今年度RACの地区大会、又40年と、RACの節目の年度でありました。皆様の御協力を切にお願い致します。

会員増強等、非常に難しい問題もありますので、クラブの皆さんの結束が大切ですが、今年度の様に、3月11日の災害から始まり、原発の問題へと進み、政府の指導がままたず、言う事なす事はバラバラで、国民の信頼回復にはほど遠く、あきれられる状態が続きますが、自分自身で何が出来るだろうかではなく、何をしなくてはならないと言う様に、積極的な行動が望まれているのです。大震災や原発による風評被害等も含め、国内は元より世界中が原発の是非について、真剣に考えなければならない時と思います。

私の任期中、特に3月以降は災害関連の諸問題が日本国中のニュースになり、普通の事業などは自粛モードで中止の状態が続き、何やら寂しい様でありました。

災害に直接関連し、多くの方々が亡くなり、空前の被害に遭った訳ですから当然ですが、それ以上に今後、これからの生活は元より、身体に影響が出る様な放射能汚染が報道される様になりますと、どの様な解決策があるのか、とても心配されます。早く心配しない世の中が、実現出来ないかと思えます。

この様な状態はこれからも続く様です。今我々が何をすべきかを考えながら、ロータリー活動を前進させて行かねばならないと思えます。皆様の御協力をお願い致します。

この様な時だからこそ、皆の為に“Do for others”の精神と、ロータリーの原点に立ち戻る事が必要だと、考えを新たに致す今日この頃です。

この一年を振り返ってのお話しですが、とりとめのない話となりましたが、皆様の御支援に感謝して、卓話を終わりに致します。



## 三条ロータリークラブゴルフ同好会 第58回大会

ゴルフ同好会恒例の遠征ゴルフ大会が、6月16日(木) 日本海カントリークラブで開催されました。宿泊は大観荘せなみの湯で日本海に沈む素晴らしい夕日を見ることが出来ました。

優勝 斎藤 弘文  
準優勝 熊倉 昌平  
第3位 渡辺 良一







次週例会 7月6日 クラブ・アssenブリー  
山田富義 会長

次々週例会 7月13日 外部卓話  
新潟経営大学教授 中島 純 様

